水鳥公園からのたより

米子水鳥公園（☎24−6139・FAX24−6140）

ヒシクイ

ヒシクイは、10月頃から水鳥公園に飛来するガンの仲間で、国の天然記念物に指定されている鳥です。かつてはマガンの群れに数羽が時々混じっている程度でしたが、平成27年の冬に最多で20羽が飛来するなど、少しではありますが、近年個体数や観察頻度が増えてきたように感じます。

ところで、ヒシクイという名は、水草の一種であるヒシの実を食べることからつけられたものです。しかし、中海周辺にはヒシはほとんどないので、ヒシの実を食べるヒシクイは観察できません。そのかわり、水辺の草を主に食べています。

ヒシクイには、くちばしと首が細長いオオヒシクイと、くちばしと首が短めのヒシクイという二つの亜種が知られています。しかし、水鳥公園に飛来するヒシクイにはいろいろな体型のものがいて、どちらともいえないことが多々あります。図鑑では亜種が見分けられるように紹介されていても、実際はそんなに単純ではありません。

ヒシクイの特徴は、くちばしが黒くてくちばしの先端寄りにオレンジ色の帯模様があることです。毎年数百羽飛来するマガンと一緒にいるときは、くちばしに注目すれば見つかります。また、マガンは声が高めで「キャハン、キャハン」と聞こえるのに対し、ヒシクイは声が低くて「ガガン、ガガン」と聞こえるので、鳴き声もヒシクイの存在に気付くよい手がかりになります。ヒシクイは警戒心が強く、なかなか近くで観察できることがありませんが、近頃はネイチャーセンターのそばまでやってくることもあります。

中海の主なガン類であるマガンの群れと一緒にいることが多いですが、ガンの仲間同士とはいえ別の種類なので、行動はマガンとは少し異なります。水鳥公園から安来の田んぼへ食事に移動するときも、マガンの群れとは別に移動しています。10月から11月にかけては、ガン類は早朝に安来の田んぼで食事を終えた後、昼間に水鳥公園に集まって休む傾向があるので観察しやすいです。園内にガンの群れがいたら、その中からヒシクイを探してみてはいかがでしょうか。

米子水鳥公園主任指導員　桐原（きりはら）　佳介（けいすけ）

コハクチョウ

10月に見られる生きものたち

鳥類：コハクチョウ、マガンなどのガン類、ヒドリガモなどのカモ類、ダイサギなどのサギ類、チュウヒなどのタカ類、カワウ、カイツブリ　など。
その他生きもの：メダカ、オンブバッタなどのバッタ類、ハラビロカマキリなどのカマキリ類、エンマコオロギなどのコオロギ類　など。

10月の催し

コハクチョウ初飛来日クイズ2017
コハクチョウの初飛来日を予想して投票してください。コハクチョウの初飛来まで受付中。対象：期間中のネイチャーセンター入館者。応募方法：入館時に配布する応募用紙に必要事項を記入し、応募用紙を館内の応募箱に入れてください。応募はお一人につき1回。応募期間：コハクチョウが初飛来するまで。

手作り自然教室
「竿を作ってゴズを釣ろう！」
自分で作った釣竿でゴズ（マハゼ）を釣ります。釣れたゴズは、みんなで美味しく料理して味わいます。15日（日）午前9時30分〜午後3時。対象：小学生以上の親子10組・要予約。参加費：500円。

自然観察会「コハクチョウのねぐら入りを観よう！」
夕焼け空の中、編隊飛行してくるコハクチョウが池に舞い降りる様子を観察します。21日（土）午後5時〜6時。対象：小学生以上がおすすめ。当日受付。

フェザーカービング展
本物そっくりな木彫りの羽毛を多数展示します。10月29日（日）〜11月25日（土）。出品：バードカービング米子。

バードカービング展
本物そっくりな木彫りの野鳥を展示します。ぜひいろいろな角度からご鑑賞ください。10月29日（日）〜11月5日（日）午後3時まで。出品：バードカービング米子。

彦名・水鳥ふれあい中海ウォーキング大会
粟嶋神社から水鳥公園周辺の中海湖岸約5.5kmを歩きながら、チェックポイントのクイズに答えます。ウォーキング終了後、クイズの答え合わせと景品のプレゼント、豚汁とご飯の炊き出しがあります。11月5日（日）午前9時30分〜午後0時45分。対象：長距離歩ける方。集合：彦名二区公民館。主催：彦名校区自治連合会・公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団

●会場・集合は特に記載のない場合水鳥公園ネイチャーセンターです。
●米子水鳥公園の催しへの参加には入館料が必要です。手作り自然教室の参加費は、入館料を含めた大人・子ども一律の料金です。
●入館料は、高校生〜69歳の方は310円、その他は無料です。
■開館時間　午前9時〜午後5時30分
■休館日　毎週火曜日